

平成20年4月1日

お 知 ら せ



国土交通省

平成20年度

日野川河川事務所関係予算概要

電話でのお問い合わせ

国土交通省 日野川河川事務所

TEL0859 - 27 - 5484(代表)

(技術)副所長

うえはし
上橋(内線204)

調査・品質確保課長

いとう
伊藤(内線351)

平成20年度日野川河川事務所事業費

事業部門		事業費(当初)			備考
		19年度	20年度	対前年比	
		当初	当初	当初	
河川事業	改修	226	184	0.81	
	環境整備	0	0	-	
	維持修繕	409	466	1.14	
	応急対策	0	0	-	
	小計	635	650	1.02	
砂防事業	砂防	714	795	1.11	
	小計	714	795	1.11	
海岸事業	海岸	640	621	0.97	
	小計	640	621	0.97	
開河 発川 事総 業合	堰堤維持	211	221	1.05	
	堰堤改良	141	1,023	7.25	
	小計	352	1,243	3.53	
合計		2,342	3,309	1.41	

- (注) 1. 事業費には調査費・災害復旧費を含まない。
 2. 上記のほかに附帯・受託工事を施行する。

平成 20 年度 事業概要

日野川河川事務所

1. 河川事業

- 1) 日野川 溝口地区改修事業の促進
伯耆町溝口地区の日野川改修事業として、水路の付け替え工事に着手する。

2. 砂防事業

- 1) 大山山系日野川 御机^{みつくえ} 2号砂防堰堤の促進
江府町御机地区において、土石流危険渓流である船谷川支川美用谷川^{みよう}左支渓の整備として、本年度の完成に向け本体工事を促進する。
- 2) 大山山系日野川 真野^{まの} 2号砂防堰堤の促進
伯耆町真野地内において、荒廃の進む別所川の整備として本体工事を促進する。
- 3) 大山山系日野川 大坂^{おおさか} 4号砂防堰堤の促進
伯耆町大坂地内において、荒廃の進む白水川の整備として本体工事に着手する。
- 4) 大山山系日野川 三の沢砂防堰堤の着手
伯耆町大河原地内において、荒廃の進む小江尾川の整備として事業に着手する。

3. 海岸事業

- 1) 皆生海岸 夜見・富益工区の侵食対策の促進
夜見・富益工区から境港工区においてサンドリサイクル（砂の循環）による保全対策と人工リーフ（砂の安定）整備を促進する。

4. ダム事業

- 1) 菅沢ダム 堰堤改良事業の促進
小規模放流設備工を促進する。

平成20年度 日野川河川事務所 「日野川 溝口地区改修事業」

事業費 184百万円

1. 事業概要

溝口地区は、日野川右岸上流部に位置し、背後に溝口市街地をはじめ、国道181号線、JR伯備線等の主要幹線を控える重要な地域です。

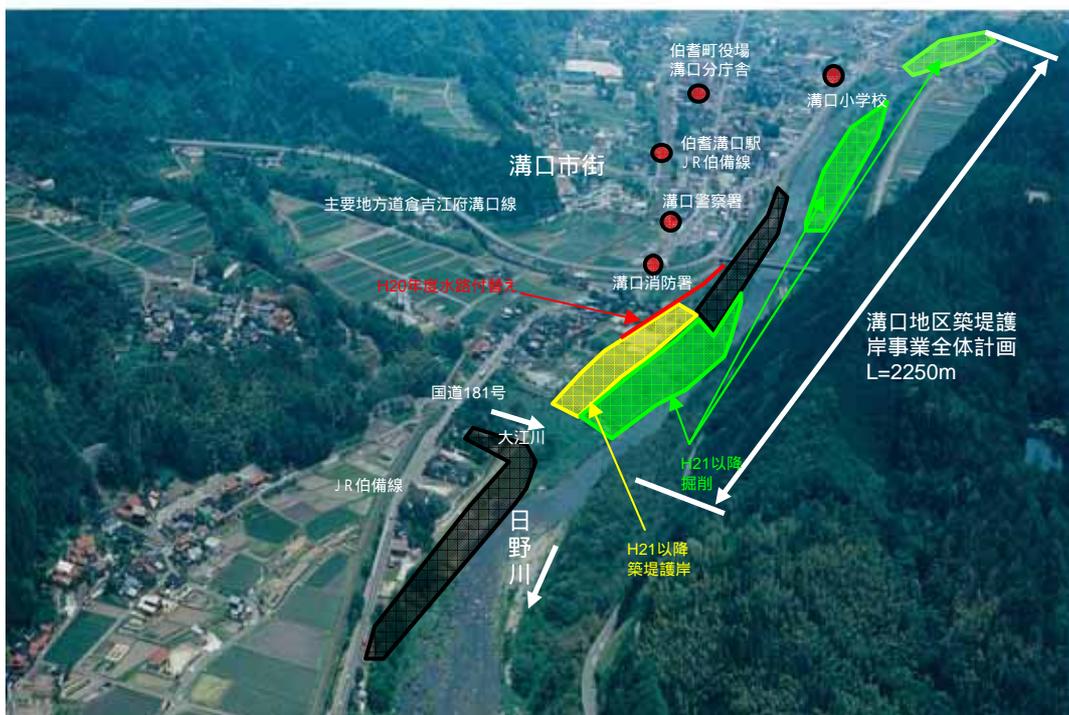
当箇所の一連区間がまだ未改修で、局所的な無堤部及び堤防高不足箇所が存在するほか、近年の出水においても近傍の観測所で警戒水位を越える出水が発生し、河川管理施設の災害も発生しました。

平成18年度より、当箇所の改修事業に新規着手しており、平成20年度は水路の付け替え工事を実施して行きます。

2. 位置図



3. 現況写真



平成20年度 日野川河川事務所
「大山山系(日野川水系)直轄砂防事業」

事業費 794.5百万円

1. 事業概要

大山山系(日野川水系)直轄砂防事業は、解体期にある大山及び各溪流から流出する土砂被害から地域住民の生命と財産を守るため実施しており、引き続き整備率向上を図ると共に、下流域へバランスのとれた土砂供給を行うため、水系一貫した流域土砂管理の砂防事業を展開していきます。

平成20年度事業内容

御机2号砂防堰堤:土砂災害対策の促進として、H20年度内完成に向け、
本体工事を促進します。

真野2号砂防堰堤:土砂災害対策の促進として、本体工事を促進します。

大坂4号砂防堰堤:土砂災害対策の促進として、工事に着手します。

三の沢砂防堰堤:土砂災害対策の促進として、事業に着手します。

真野2号砂防堰堤



真野2号砂防堰堤

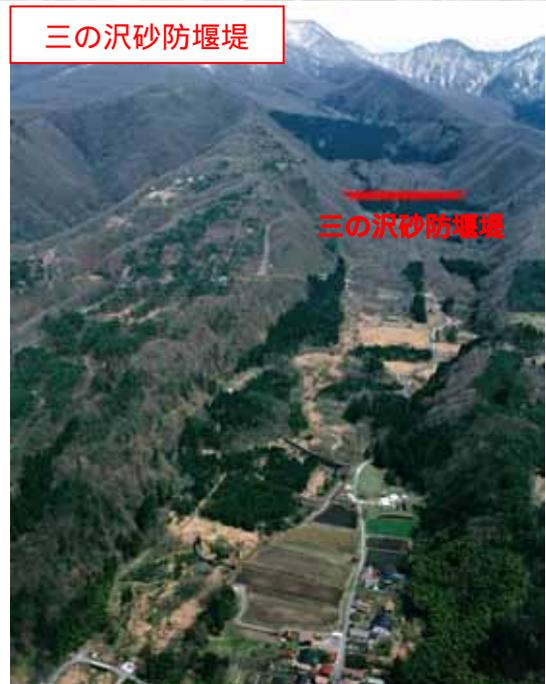
大坂4号砂防堰堤



大坂4号砂防堰堤

大坂2号砂防堰堤

三の沢砂防堰堤



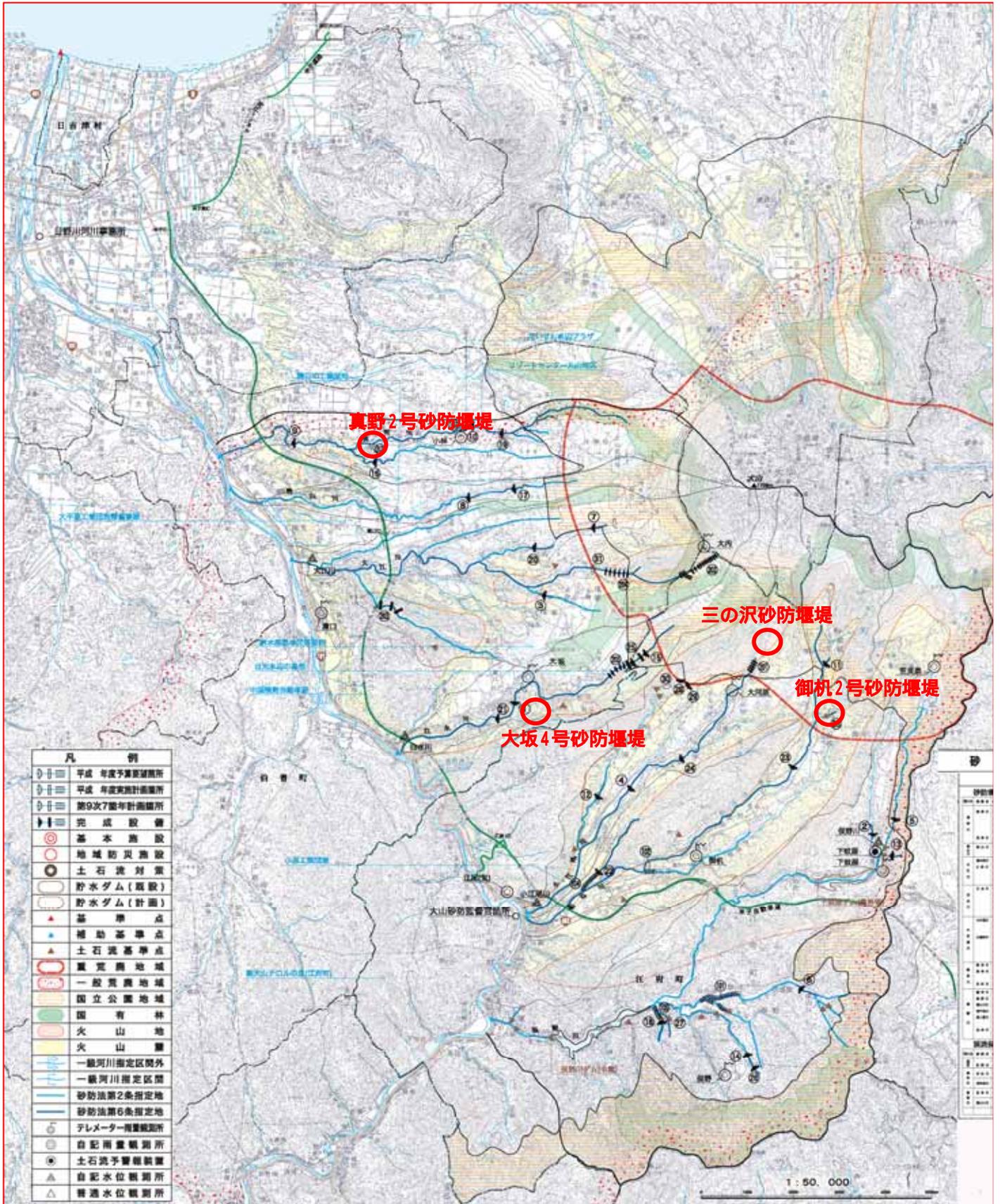
三の沢砂防堰堤

御机2号砂防堰堤



御机2号砂防堰堤

「大山山系(日野川水系)直轄砂防事業」



「大山山系(日野川水系)直轄砂防事業」

御机2号砂防堰堤



御机2号砂防堰堤

整備土砂量 = 4,700m³, H = 13.0m, L = 65.0m
堰堤のタイプ: 不透過型砂防堰堤

船谷川及び土石流危険渓流に指定された美用谷川支溪の土砂流出の抑制を目的に設置。これにより御机地区の11戸が保全される。

真野2号砂防堰堤



真野2号砂防堰堤

整備土砂量 = 226,200m³, H = 14.0m, L = 94.0m
堰堤のタイプ: コンクリートスリット型砂防堰堤

別所川の土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的に設置。

「大山山系(日野川水系)直轄砂防事業」

大坂4号砂防堰堤

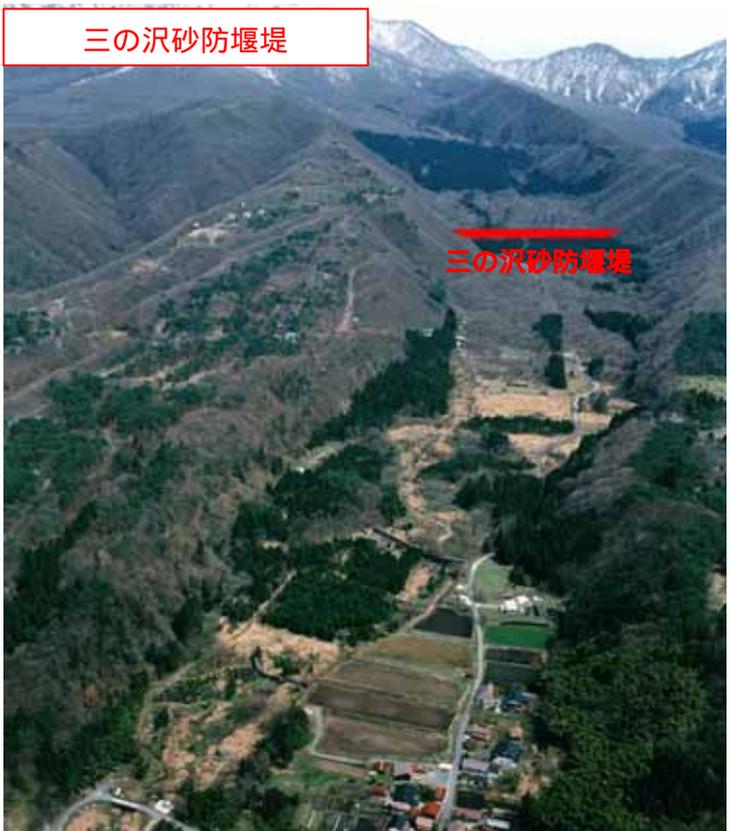


大坂4号砂防堰堤

整備土砂量 = 44,000m³, H = 14.5m, L = 52.0m
堰堤のタイプ: 鋼製スリット型砂防堰堤

白水川の土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的に設置。

三の沢砂防堰堤



三の沢砂防堰堤

整備土砂量 = 119,300m³, H = 11.5m, L = 約300m
堰堤のタイプ: 鋼製スリット型砂防堰堤

小江尾川の土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的に設置。

平成20年度 日野川河川事務所 「直轄海岸保全施設整備事業」

1. 事業概要

皆生海岸は中国地方で唯一の直轄海岸保全事業を行っている海岸であり、これまでの構造物主体の侵食対策に代わり、自然特性を利用した「サンドリサイクル工法」など土砂管理による侵食対策に取り組んでいきます。

平成20年度は、現在の皆生海岸において最も侵食が深刻な富益工区において「サンドリサイクル」を継続するとともに、富益工区で3基目の「人工リーフ」完成と、4基目の「人工リーフ」整備に着手することにより、安定した海浜の確保を目指した侵食対策を実施して行きます。

2. 位置図



2. 現況写真



海岸侵食が進む夜見富益工区 (H18.12.8撮影)



人工リーフとサンドリサイクルの整備イメージ



富益工区の人工リーフ (H19年度末で2.5基整備済)

平成20年度 日野川河川事務所 「菅沢ダム直轄堰堤改良事業」

事業費 1,022.6百万円

1. 事業概要

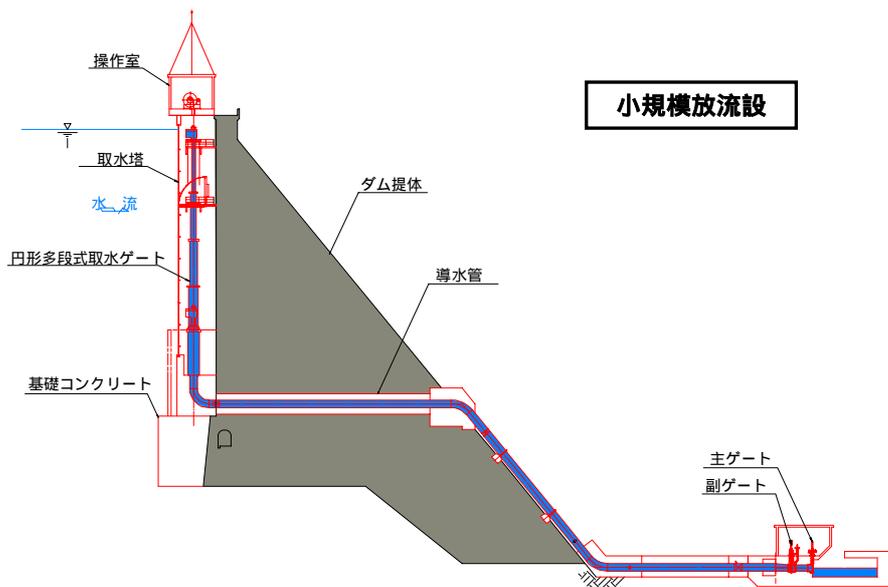
菅沢ダムは、昭和43年9月に完成して以来、適正な維持管理を行い、洪水調節、かんがい用水の補給、工業用水の供給、発電の各機能を発揮してきました。

しかしながら、管理移行後39年余りが経過し、ダム設備の老朽化等に伴いダムの機能確保、適正管理に支障をきたし、対策が必要となったため、平成14年度から直轄ダム施設改良事業（平成17年度から直轄堰堤改良事業に名称変更）による調査、検討に着手しています。

平成19年度までに、庁舎及び常用洪水吐きゲートの改造・ダム放流設備制御装置の設置が完了しています。平成20年度は、小規模放流設備工の本体工事に着手し、継続して促進していきます。



完成イメージ図



小規模放流設